

2023年度 公立大学法人大阪第2回役員会議事要旨

日 時：2023年5月10日（水）13時00分～14時00分

場 所：阿倍野キャンパス医学部学舎18階会議室

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、
中村理事、宮部理事(欠席)、帯野理事、生駒理事(オンライン)、藤沢理事(オンライン)
陪席者：西田監事、白井監事、市橋事務局長、大久保事務局次長、石井事務局次長、
船野学長室長、千田総務部長、柴山企画部長、富宅医学部・附属病院事務局事務
部長、中井総務課長

【審議事項】

1 公立大学法人大阪特別顧問の任命について

担当理事より、公立大学法人大阪特別顧問の任命について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2 大阪市高速電気軌道株式会社との包括協定（案）について

担当理事より、大阪市高速電気軌道株式会社との包括協定（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

【報告事項】

1 イノベーションアカデミー事業の推進について

担当理事より、イノベーションアカデミー事業の推進について報告がなされた。

<主な意見等>

- ・大阪公立大学の今後の経営戦略やビジョンについて説明いただき、イノベーションアカデミー事業によるリターンとして、学生数、海外との連携および府市との連携がどの程度増加するか等、KPIも含めて示していただきたい。
- ・公立大学である本学が文部科学省の補助金20億円を獲得したことにより、イノベーションアカデミー事業展開の第一歩となった。施設運営には人員も必要であるので、施設整備費のみならず、人件費への投資についても検討いただきたい。
- ・大阪府民、企業、社会に対して、イノベーションアカデミー事業の概要についてよりわかりやすく工夫した情報発信を実施することにより、益々応援者が増えるのではないかと。

2 「大阪国際感染症研究センター」の体制整備状況について

担当理事より、「大阪国際感染症研究センター」の体制整備状況について報告がなされた。

<主な意見等>

- ・大阪地域には大阪大学の感染症総合教育研究拠点CiDERが既に存在するが、本学のセンターでは都市シンクタンク機能を発揮し、マクロ感染症学を通じた国際社会への貢献をめざすものである。

3 「健康長寿医科学研究センター（仮称）」開設に向けた取組について

担当理事より、「健康長寿医科学研究センター（仮称）」開設に向けた取組について報告がなされた。

<主な意見等>

- ・他施設としては東京都健康長寿医療センター等があるが、本学のセンターでは特に認知症・合併症に焦点をあて研究、診療を実施することで、大阪および周辺地域の健康寿命の延伸をめざす。
- ・女性比率の増加を意識したうえでセンターの充実を図っていきたい。

【その他事項】

特になし

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上